

Replay

校 長 武井 正明

また今年も校内に歌声が響き渡る季節がやってきた。体育祭が終わった直後から、もうこの時間と空間が来るのが、待ち遠しかった。

月曜の昼休み、音楽祭推進委員長の放送の指示で、いよいよ合唱練習が始まった。

校内を廻っていると、集会室から3年6組の歌声が聞こえてきた。

初めて聴く曲だな…楽譜を見ると「Replay」とあった。訊くと北村匠海が作詞だという。へえ、あの北村匠海か。私にとっては連続ドラマ「あんぱん」の印象が強くて、歌も歌うと聞いてはいたが、こんな若いのに、実にいろんな才能がある人だなあ…。

そして、あらためてこの歌詞を読んでみた。

～間違いだって 陽が沈むように 瞬く度に 明日へ繋がるさ～

うわ～っ、このフレーズ、いいわあ、刺さる～。私はよく、子どもたちに言う。若い君たちにマイナスはない。全部プラス。間違いも、オセロのように黒から白に、全部ひっくり返せるのが、それが若さだ、と。どんな合唱を聴かせてもらえるのか楽しみだ。

前に本欄で、佐々木朗希の事を書いたことがある。

思うように活躍できず、不振に喘ぐ彼を、マスコミはわがままだの、仮病だのと、こぞって叩いた。（というより、潰しに行っているようにしか私には見えなかった）まだ若い彼にとって、どれほど辛い時間だったか察するに余りある。

しかし、その苦しみ藻掻いている時間で、彼はひたすら冷静に、自分の課題を見つめたはずだ。そして現時点での答えを得て、シーズン終盤の登板に臨み、そこで新たなチャンスをつかみ、彼が未経験だった、ストッパーという大役を、現在見事に果たしている。

長い野球人生だ。これからもいろんなヤマがあるだろう。
でもそれは自分で決めた道。だから後悔はない。

大谷翔平の様な、非の打ち所がない怪物スーパースターよりも、どこか不器用で鼻っ柱が強く、ハラハラさせられる佐々木朗希の方に、私は堪らなく魅力を感じるんだよなあ…。

～間違いのないや 青い瞬きだ 届いたその声が 生きる答えだよ～

まだまだ朗希のピークはずっと先。これからも、もっとドキドキさせてくれ!!

